

きのくに青雲高等学校定時制

実施日時	令和元年 9月25日(水)、10月24日(木)
参加者	生徒246名、教職員40名、地域住民等12名 計298名
実施内容	避難訓練、防災教育LHR、炊き出し(アルファ米)

ねらい

1. 近い将来発生が危惧される南海トラ地震をはじめ自然災害に備え防災意識を高め、スムーズに行動できるよう避難経路や避難行動を確認する。
2. 地域防災の担い手として社会貢献できる生徒の育成を目的とする。

主なプログラム

1. 避難訓練。
2. DVD教材を使った防災教育。
3. 文化祭でアルファ米を使った炊き出し。

概要

1. 地震発生、火災発生による避難を想定した訓練。
2. DVD「津波に備える」を視聴し津波の知識、避難のポイントを、実際の映像やCGを見ながら学習した。

参加者感想文

- 地震が起こったときの避難経路が確認できた。
- 津波の怖さがわかった。

避難訓練



成果と課題

【成果】

- ① 避難訓練やDVD学習をすることによって、過去に起きた地震災害・津波の様子を学ぶことができた。また、今後の自然災害対策として大いに役立った。
- ② 文化祭でのアルファ米を使った防災スクールでは、生徒・教職員にとどまらず、保護者にも参加してもらえた。

【課題】

- ① 訓練ということもあり生徒の中には緊迫感のない生徒もいた。実際に地震が起こった時の行動についてより緊張感を持った取り組みが必要。
- ② 障害を持つ生徒等への対応に、人員の少なさを感じた。

DVD学習

